



第202号

申

平成 28 年 1 月 1 日
小松市史編纂事務局
へんさんだより

市史へんさん



あけましておめでとうございます 今年もよろしくお願いたします

新たな年を迎え、皆様にとって今年も幸多い年でありますように。

さて、今年度の古文書講座の日程、内容が決まりました。前回に引き続き、袖吉正樹市史専門委員をお迎えしての開催となります。町方、地方(ジカ)文書、地元資料としては温泉関係文書を取り上げ、町や村の生活の様子や栗津温泉の当時の状況を探ります。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

古文書講座 (第70・71・72回 市史講座)

「家柄町人 武蔵庄兵衛」

2月27日(土)

家柄町人とは? その実態を見ていきます

「村の諸相」

3月 6日(日)

地方文書から、村人の生活の一端を見ます

「栗津温泉の様子」

3月13日(日)

温泉関係文書より栗津温泉の状況を探ります

講師：袖吉 正樹 氏

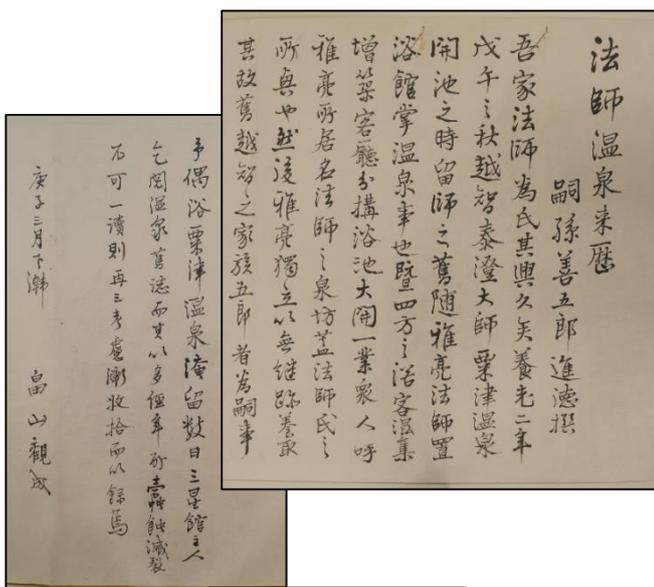
(金沢市立玉川図書館担当館長補佐)
(小松市史専門委員)

時間：午後1時30分～3時30分

会場：小松市芦城センター
2階 多目的ホール

受講料：無料

受付：資料準備のため事前予約が必要
事務局(0761-24-5315)にご連絡ください
当日参加も可能です



温泉文書(法師旅館)



先月号で、「国府」、「国司」、「受領」についてその概要を述べ、現存する「館」という小字名が受領の居住空間をさす「館」と一致することから、小松に国府が存在する手がかりになるとして、締めくくりました。これは、講師である森田喜久男教授のフィールドワークによる推察です。

実際、当市に国府があることの立証は、発掘調査からは確認されていません。ところが、最近、金沢市北部にある戸水C遺跡、戸水大西遺跡などから、「官衙」と指摘される遺跡が発見され、立国直後の国府は加賀郡の金沢市域にあったという説が浮上しました。

これに対し、森田教授は、加賀郡所在説の根拠となる文献史料(大東急記念文庫本『和名類聚抄』)を調べ、その資料が誤植の可能性が強いことを指摘し、国府が加賀郡にあったとは言い切れないとしました。

ひとつの見解として、立国直後は、まだ加賀国内に整備された国府は置かず、郡家など既存の施設を修理、活用しながら、整備を進め、10世紀以降の地方行政に対応できるような新しい国府を能美郡内に建てたと考えます。この場所が小松であろうというのです。

こうして10世紀には、国府で政務が執られました。が、実際、任国に赴いたのは受領とよばれる国守で、この頃には、国内を支配する権限が受領に集中し、一国の納入責任を一身に背負った存在へと変わっていったのです。



国府に使用された戸津町出土の瓦

お知らせ

今回の市史講座の資料が残っています。
ご希望の方は事務局までご連絡ください。



<事務局 12月の活動状況>

- ・ 12月 2日(水) 林業関係資料調査
- ・ 12月 3日(木) 町家実測調査

<事務局 1月の活動予定>

- ・ 1月 14・21日 町家実測調査
- ・ 1月 21日(木) 近世村方部会
- ・ 1月 27日(水) 教育部会

<1月のカレンダー>



日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

は小松市史編纂事務局が閉室しています。

小松市史編纂事務局 (小松市立図書館 2階)

- ・ 住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町 19 ・ TEL 0761(24)5315 ・ FAX 0761(22)9763
- ・ E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・ URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>

